

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	会議等においては、日常ケアに関する事が多く、施設の活動方針、行事企画等の運営に関する事は少ない。協議内容が反映されないこともあり、今後協議の時間、回数を増やし熟成する必要がある。	代表者、管理者との意見交換の場をより多く設定し、意思疎通を図りながら、職員の意見を反映させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者との話し合いの場の定例化</li> <li>提案の具体化、具現化に向けて一層話し合う</li> <li>利用者の生活環境、スタッフの職場環境の整備に努める。(スタッフのメンタルケアも含む)</li> <li>介護者のメンタルケアの専門化を招いての研修</li> </ul>	12 か月
2	10	来所された折、あるいは会議、アンケートを通じて、又、利用者とは日常の会話の中で、個々の意見、要望を伺う機会は設けているが、それを施設の運営、あるいは、外部への発信には活かされていない。利用者間の交流も少ない。	それぞれの意見、要望の質、内容を全スタッフが共有し、具現化できるように努める。同時に外部への発信も高めるよう努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換の場を増やす。(スタッフと家族)</li> <li>利用者家族間の交流の機会を増やす。</li> <li>外部への情報発信を増やす。(情報誌、公報誌の活用)</li> <li>行事予定を早めに出し、家族の協力を得る。</li> </ul>	12 か月
3	49	施設周辺の散策、散歩は日常的に行っている。又、利用者個々の希望に沿うよう、遠出も年2～3回行っているが、スタッフ不足が課題であり、利用者家族、地域ボランティアの活用が今後の課題となっている。	地域のボランティア力の発掘、利用者家族の協力体制の強化に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地から遠いので公共交通機関の利用</li> <li>外出計画は早めに計画し家族の協力を呼びかける。</li> <li>情報広報誌を通じてボランティア要員の確保</li> <li>外出に関する家族の意向を調査する</li> </ul>	12 か月
4	35	災害に対する対策として、火災、自然災害を問わず全スタッフは問題意識の高揚と、定期的に通報、消火、避難訓練を行っているが、地域の高齢化、過疎化が進み、地域の協力は得られにくくなっており、自助の強化が喫緊の課題となっている。	日常生活の中で、スタッフ同士、スタッフと利用者間の防災訓練、防災意識の高揚を図り、自助力の強化に努める。同時に地域への働きかけを高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害の内容(火災、自然災害)それぞれへの対応の仕方の再確認。</li> <li>訓練の強化、回数を増やす。</li> <li>公共機関への協力要請の強化。</li> <li>備蓄品の整備利用者・スタッフ間の連携強化</li> </ul>	12 か月
5					

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。